

## ～岡山から はるばる チリへやってきた 鯉のぼり～

みなさん、チリがどこにあるかご存知ですか。南米大陸にある細長い国です。南北の長さ4329 kmに対し、東西の幅は平均175 kmしかありません。日本列島を縦にふたつならべたような感じです。

西は太平洋、東はアンデス山脈 北は赤道近く、南は南極と、自然の変化に富んだ国です。

首都はサンティアゴですが、私の赴任先は サンティアゴから北に470 km（飛行機で約1時間）のラ・セレナという町です。



ラ・セレナは、「晴れの国」岡山と似たところがあります。まず、ラ・セレナは気候が温暖で、雨があまり降りません。もうひとつの共通点は、ここに南米最大の日本庭園があることです。

今回、庭師の棟梁 フアン・コジャオさんからのたつての希望で私が日本語を教えているラ・セレナ大学を通じて株式会社徳永こいのぼり様のご厚意により岡山から 庭園に 鯉のぼりを贈っていただきました。

庭園の名前は「心の庭」です。



鯉のぼりのお披露目の前日に鯉のぼりをあげてみました。



棟梁のファンさんは とってもうれしそう！  
居合わせた来園者も「きれい！」とカメラのシャッターを切っていました。

1月3日にセレモニーが行われました。



入口には チリと日本の国旗

ラ・セレナ大学の学長と、  
庭園を運営する鉄鋼会社 CAP Minería の副社長のあいさつ  
そして、鯉のぼりのお披露目です。

青空を悠々と泳ぐ鯉のぼり  
そして なぜか？ それを祝福するコスプレの一団  
チリの1月は夏ですが、この日の天候は日本の5月のようです。  
日本庭園の晴れ渡ったそらに 気持ちよさそうに泳ぐ鯉は 感動的でした。



お披露目の後は 庭園の盆栽をながめながら、お寿司などがふるまわれ  
私もスペイン語でインタビューを受けました。



日本から飛行機を乗り継いで 30 時間以上かかる南米の遠い国チリにも  
日本が大好きで、日本文化に興味のある人たちがたくさんいます。  
それに、なんだかチリの人たちは日本人に似ているような気がします。